



自然がいっぱいの散策路



緑に囲まれた約1万坪の療養環境の中、高齢者医療の先駆的病院として外来や入院、地域啓発にいたるまで泉州地域の医療に貢献する「白井病院」(1965年開院、白井誠一理事長)。長寿を喜べる社会をめざして専門の診療科や外来、医療スタッフを持ち、認知症については約30年前から力を注いでいる。

その医療の集大成として、泉州地域における認知症治療の第一人者、田中敬剛医師(日本老年精神医学会指導医・写真)が、単なる物忘れか認知症なのかがわかる検査「もの忘れ(脳)ドック」を昨年秋に立ち上げた。この半年あまりで認知症の発症前や初期段階での発見に成果を挙げている。

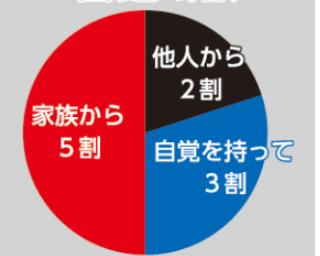
早期発見・治療が重要

認知症には、薬やリハビリで治る種類がある。たとえ治らなければ、早期発見できれば症状を軽くしたり進行が遅らせられるなど、治療の選択肢が増えることになる。

田中医師は、「認知症は世界的な課題。昨年では、世界中の知見や経験が共有されることとなった。この10年以内に認知症で悩む人がいなくなるかもしれない。いますぐ治らなくても、発症や進行をどどめおくことができる。だからこそ、早期発見、早期治療が重要になるのです」という。

田中 敬剛 医師

(図)受診の内訳



知症を見つけるには、家族や他人、社会の温かい眼差しが欠かせないことがうかがえる。

またはその予備軍は全

国で400万人。65歳以上の4人に1人も該当しているが、「まさか自分が」と思っている人が多いようだ。

同院の受診を円グラフ(図)でみると、初診や他の医療機関からの紹介で受診した患者のうち、自覚症状を持つてたのは3割程度。

△白井病院=認知症患者を専門にみる病院。通院治療、長期継続入院、持病のある患者にも対応。医療福祉相談課にケースワーカー16名が在籍し、認知症へのアドバイスをはじめ、介護全般の家族の悩み、医者にかかる手前との相談など、本人や家族の悩みごとをもサポートしている。

下さい」と呼びかけて

いる。

認知症高齢者をささえる専門病院

シリーズ1 病気になっても安心できる地域めざす

認知症の発見には、本
人以外の眼差しが大切

認知症は、誰でも患
う身近な病気。認知症
という。



医療法人白卯会 白井病院

泉南市新家 2776

[問] Tel 072-482-2011(代)
白井病院医療福祉相談課
(月~土曜日 9時~17時)
www.shiraihp.or.jp